

三原市社協の地域センターからお知らせ

本部・三原地域センター 三原市総合保健福祉センター4階 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599
本郷地域センター(三原市本郷福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064
久井地域センター(三原市久井保健福祉センター)電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011
大和地域センター(三原市大和保健福祉センター)電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020



「お互いさま」の輪を拡げていきます

社協では、みなさんが担い手となり、地域の福祉を高める活動を推進しています。
今回は、住民のみなさんが担い手となる福祉活動の内、「三原市ご近所お互いさま活動 ほっとは一と」のあたたかいお話しと担い手となる「生活・介護支援サポーターフォローアップ研修」の様子をお届けします。

身内が増えたように感じるよ



～ご近所お互いさま活動「ほっとは一と」の活動から～ **大和地域センター**

「ドクダミ草を刈ってもらいたいです。」3年前のある日、社協にこんなお問い合わせがありました。草取りと一緒にドクダミ草の除草かな？と思いましたが、よくよくお話を伺ってみると、ドクダミ草でお茶を作りたいとのこと。お聞きすれば、戦後、呉からご主人のふるさと大和町へ帰って来られ、慣れない農作業や異なる土地の方言に四苦八苦されたとのこと。そのような生活を送りながらも、身体が弱く寝込むこともあったので、せめて身体の中から健康を得たいと、ドクダミ草を分けてもらい、畑に植えられたそうです。



洗ったり干したりする作業はご本人がされるそうです。刈り取り作業は、は一とさんががんばりましたよ！

いまはお一人暮らしとなり、隣近所で助け合いながら生活をされています。県内に娘さんはいるものの、やはりお願いしにくいことや気兼ねを感じることもあり、そのひとつがドクダミ草の刈り取りだったそうです。

以前は刈り取りもご自分でされていましたが3年くらい前からは、腰や足の痛みから無理がきかなくなり、高い場所にある畑にあがることができなくなりました。そこでご近所さんから教えてもらった“ほっとは一と”に問い合わせをくださったそうです。

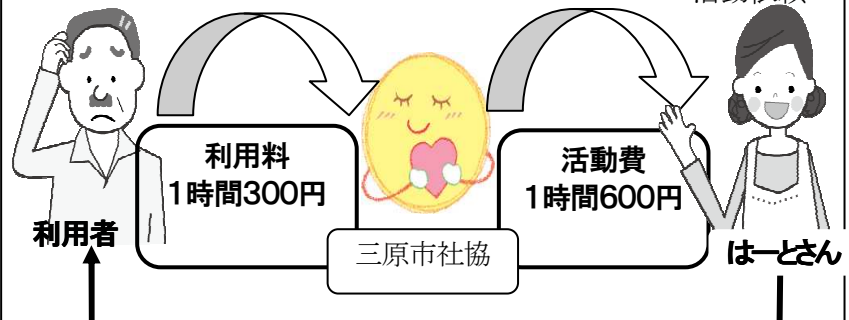
いまでは、その時のお手伝いをご縁となり、は一とさん(協力員)が近くに来たときは声をかけてくださるそうです。「本当に嬉しいよ。まるで身内が増えたように感じるんよ。」と満面の笑顔でお話しをしてくださりました。

今年もドクダミ草が咲く季節がやってきました。ほっとは一との利用を縁にまたひとつ新しい出会いが生まれます。「ありがとう。」「また言ってくださいね。」新しい絆がつむがれています。

活動までの流れ

① 困っていることを社協へ連絡

② 「は一と」さんへ活動依頼



この「ほっとは一と」は、赤い羽根共同募金から助成を受け、運営しています

③ “は一とさん”が活動可能なら

誰かの役に立つ活動をしたい

～生活介護支援サポーター フォローアップ研修～

三原地域センター

社協では、地域福祉活動を担う「人づくり」を地域福祉活動計画の柱に位置づけ、様々な講座を開催しています。先日開催した「生活・介護支援サポーター フォローアップ講座」もそのひとつで、過去にこの講座を修了された26名の方々が受講されました。

この生活介護支援サポーターは、ほっとは一と活動など住民参加型の福祉活動との担い手として、お住まいの地域での活動を期待されている方々です。今回は、「生活・介護支援サポーター どこまでかかわればいいのか？」をテーマに、地域で活動していく上での疑問点について、講演とグループ討議を行い、日頃感じている想いの交換をしました。

講師には、県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科 准教授の田中聡子さんをお招きし、このテーマについて「生活・介護支援サポーターの活動は、自発的な住民活動です。決してホームヘルパーなどの介護保険サービスの不足を補うためではありません。自分のできること・できないことを明確にしましょう」と話されました。

グループ討議では、サポーターの方から「できる範囲のことは、していきたい。だが、自分のできる範囲を超えることをお願いされることもある。」や「高齢者相談センターや民生委員、社協に相談すれば良いのではないか？」など、日常生活で感じていることを積極的に発言いただいたようです。

「誰かの役に立ちたい」というあたたかい気持ちで始めた活動も、負担が大きくなると継続ができなくなります。

できることをできる範囲で助け合えるあたたかい地域づくりのためには、「ちょっとおねがいできるかね？」といえる関係づくりと無理のない範囲でそのおねがいに応える人づくりが大切だと考えています。



写真：グループ討議の様子

手話をつかったコミュニケーション



手話は、手と身体を用いたコミュニケーションです。覚えること、手を動かすことで脳を刺激します。みなさんで覚えてみてくださいね。